

ジョン万ノート

ジョン万に関するエピソードや話題などを紹介します。

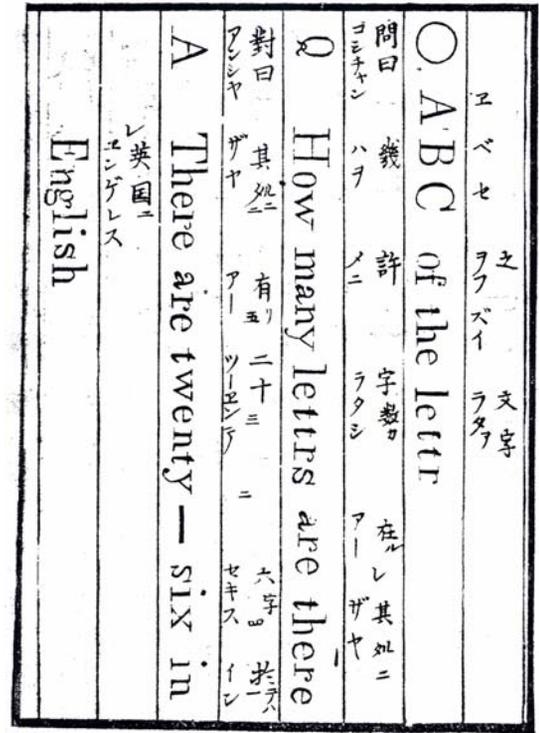
英米対話捷径について

万次郎の著作のうち活字となったものに、『英米対話捷径』という英会話の手引書がある。高知県内には県立図書館と高知大学に各一部所蔵されており、また、全国では八カ所に所蔵されている。

これらの本は訪米を前にした手軽な英会話手引き書として、また五カ国条約締結後の開港で外国との取引が盛んになった茶業者などに重宝がられ、当時のベストセラーとして二回も三回も印刷されたようです。静岡の茶業者たちが、清水次郎長の開いた英語塾で、この『英米対話捷径』を手引き書として英会話の勉強をしたという資料も残っている。

(参考：田中瀧治氏 万次郎研究ノート)

*Language of English
and American*



第9回ジョン万祭参加ツアー

平成15年10月4日に米国姉妹都市フェアヘーブンにおいて「第9回ジョン万祭」が開催されました。

ジョン万祭は、漂流した万次郎がアメリカの捕鯨船ジョン・ハウランド号に救助されたのち、ホイットフィールド船長の好意によりフェアヘーブンで勉学に励み、捕鯨船で活躍するなど青年期を過ごしたことを記念し、フェアヘーブンの人々が、日本の文化の紹介や日米の友好・交流を目的として、16年前より2年に1回開催しているもので、毎回アメリカ各地から多くの人々が祭りに参加しています。

今回も、土佐清水市より西村市長、遠近市議会議員、姉妹都市友好協会会員など総勢14名が参加し、姉妹都市交流や日米の友好に努めました。参加者からは、「このツアーでは、ほかの旅では体験できない、人の暖かさを感じ多くのことを学ぶことができました。」「非常に親切にいただきアメリカ人に対する考え方が変わりました。今後、さらに英会話を学習し、深いところまで理解できるようにしたいと考えます。」等の意見が寄せられました。

今後、いただいた意見を参考にし、このツアーが一層有意義ものとなるよう努力してまいります。



祭り会場での遠近土佐清水市議会議員



歓迎パーティーでの西村土佐清水市長（右）

平成15年度これまでの主な事業

今年度行った姉妹都市友好協会の主な事業を紹介します。

☆姉妹都市スポーツ交流

※土佐清水市姉妹都市友好協会補助事業

土佐清水市と豊見城市の少年野球チームは毎年春と夏に相互に訪問し野球を通じた姉妹都市交流を行っています。今年度も熱戦を通じて交流を深めました。

春には、土佐清水市から豊見城市へスポーツ少年野球団（大人10名、子ども17名、計27名）が訪問し、豊見城市教育長杯ジョン万少年野球大会に参加しました。また、夏には、豊見城市スポーツ少年団（大人10名、子ども33名、計43名）が土佐清水市に來訪、子どもたちは再会をお互い喜びつつ、郵YOU杯少年野球大会で熱戦を繰り広げました。豊見城市からの訪問団は、台風の影響で滞在が一日短くなり、行事が重なるなど大忙しでしたが、野球の他にもあしずり祭で子どもエイサー踊を披露するなど交流を深め帰途につきました。

春：平成15年3月28日～31日
夏：平成15年8月9日～11日



郵YOU杯少年野球大会開会式

☆ジョン万次郎漂流体験

※土佐清水市姉妹都市友好協会主催事業



漂流体験での火おこし作業

万次郎の波乱万丈の人生の出発点となった「漂流」を体験することを通じて万次郎の苦難に負けない不屈のジョン万スピリットを学ぶことを目的に「ジョン万次郎漂流体験事業」を今年度の新事業として、豊見城市から中学生ら7名、大阪ジョン万の会からは米国からの短期留学生1名を含む7名、土佐清水市の中学生11名、計25名が関係者とともに参加し開催しました。

事業は28日に漂流体験に先立ちジョン万学習会や交流会を行い、29日に漂流体験を行いました。漂流体験では、まず本市の三崎沖約200mにある周囲約1kmの無人島「水島」へシーカヤックなどで「漂流」。上陸後は、貝や魚など食料を収集、自分たちで火をおこし、竹で箸や皿を作るなど、漂流生活を体験しました。

昼前に降り始めた雨で島での語りべは中止になりましたが、中学生からは「無人島で生活するためには、何が必要であるか判断する力が必要だと思いました」という感想があり、苦難の経験を不屈の精神で乗り切った万次郎に参加者は思いを新たにしました。

平成15年7月28日～29日

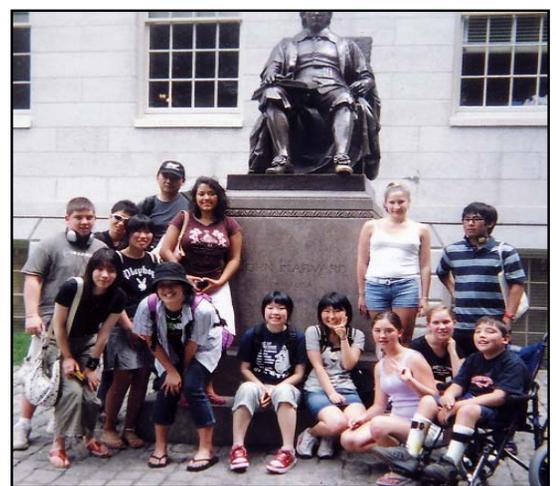
☆清水高校生米國姉妹都市派遣

※土佐清水市姉妹都市友好協会補助事業

土佐清水市の県立清水高校の生徒を米国姉妹都市での短期留学に派遣するこの事業は今回で15回を数え、これまでに高校生120名、引率者29名、計149名が短期留学を行っています。米国では全員がホームステイし、英語はもちろん日米の文化の違いを肌で感じてきました。今年は、生徒7名、引率教員1名、計8名が米国姉妹都市での短期留学を経験しました。

生徒たちはホームステイ先での生活や料理等の文化の違いに驚いたり、また、自分の英語が通じたことに素直に感動したり、と貴重な経験を帰国後うれしそうに語っていました。

平成15年8月1日～16日



ボストン・ハーバード大学にて

～知ってましたか？ ジョン万ミニ知識～

- ◎ 英語のアルファベットを順番に言うときによく歌う歌！ あの「A～B～C～DEFG♪・・・」中浜万次郎が日本人に英語を教えるとき覚えやすくするために替え歌にしたそうです。現代でも、この替え歌にお世話になっている方は、ジョン万に感謝ですね。